



(写真提供：太子町観光商工課)

水無月 ちかつじんじゅあたらえさい 太子近津神社御田植祭

太子町下野宮の近津神社は、日本武尊が東征の折、祭神の出現によって加護を受けたことに対して建立されたといわれ、級長津彦命、面足命、かじののみこと 惶根命の3神が祀られています。

御田植祭は夏至の日に行われますが、この日は二十四節気の「中」の日に当たるため、「中田植」とも呼ばれます。その起源ははっきりしませんが、かつては徳川光圀公寄進の神撰田において行われていたと伝えられています。

太鼓，笛，鼓の奏樂に合わせて田植歌が歌われる中を、あきぎ 浅葱の上衣に赤だすきをかけ、赤もんぺにすげ笠装束の10余名の早乙女が神田に苗を植えてゆきます。

期日：6月夏至の日

場所：太子町下野宮，近津神社

(JR水郡線下野宮駅下車徒歩5分)